



令和4年9月21日

北九州市
西部ガス株式会社

北九州市と西部ガス株式会社との 「カーボンニュートラル実現に向けた連携協定」の締結

北九州市（市長 北橋 健治）と西部ガス株式会社（代表取締役社長 道永 幸典）は、脱炭素の取組みをさらに推進するため、カーボンニュートラル実現に向けた連携協定を締結します。

北九州市は、「2050年のゼロカーボンシティ」の実現を掲げ、「エネルギーの脱炭素化」と「イノベーションの推進」を軸とした、環境と経済の好循環による新たな成長を目指しています。また、西部ガス株式会社は、「西部ガスグループカーボンニュートラル2050」を掲げ、これまでガス事業で培ったさまざまな技術やノウハウを結集し、「天然ガスシフト」「ガスの脱炭素化」「電源の脱炭素化」の3つの柱で、カーボンニュートラル社会の実現に向けて取り組んでいます。

北九州市と西部ガス株式会社は、本協定により、熱需要の低・脱炭素化に向けた取組みや、エネルギー使用の最適化、食品ロス・廃棄物削減の推進などに連携、協働し、取り組んでまいります。

1 協定締結日

令和4年9月21日（水）

2 連携事項

- （1）熱需要の低・脱炭素化に向けた取組みに関する事項
- （2）エネルギー使用の最適化に関する事項
- （3）食品ロス・廃棄物削減の推進に関する事項
- （4）環境エネルギー教育を通じた啓発活動に関する事項
- （5）その他、カーボンニュートラル実現に関する事項

【問い合わせ先】

北九州市環境局総務課

課長：杉本 係長：井上 電話：093-582-2173

西部ガス株式会社と北九州市との カーボンニュートラル実現に向けた連携に関する協定について

1. 熱需要の低・脱炭素化に向けた取組み

- (1) 「カーボンニュートラル LNG」の市内企業への導入を推進
- (2) 「メタネーション」技術の利活用推進 ※ ひびき LNG 基地で実証を検討

※ 「カーボンニュートラル LNG」とは、天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを、植林などの CO2 クレジットで相殺することにより、地球規模では、CO2 が発生しないとみなされる LNG です。

※ 「メタネーション」とは、水素と CO2 から都市ガス原料の主成分であるメタンを合成することを言います。メタネーションにより合成されるメタンは、都市ガス導管等の既存インフラ・既存設備を有効活用でき、社会コストの抑制が可能です。

2. エネルギー使用の最適化

- (1) 市内企業へのエネルギー診断支援
- (2) コージェネシステム導入による太陽光発電等の再生可能エネルギーの普及拡大支援

3. 食品ロス・廃棄物削減の推進

- (1) フードロス削減 EC サイト“ecoto”を活用した食品ロス・廃棄物削減支援
- (2) リデュースクッキング講座の共同開催検討

※ “ecoto”は、食品メーカーや卸売・小売業者が、消費期限間近の商品等を協賛価格で登録し、利用者が購入できる EC(電子商取引)サイトです。

4. 環境エネルギー教育を通じた啓発活動

- (1) 西部ガスホールディングスのサイト「カーボンニュートラボ」に掲載する動画コンテンツ等を提供
- (2) 小学4・5年生を対象とした授業支援パッケージ提供の検討